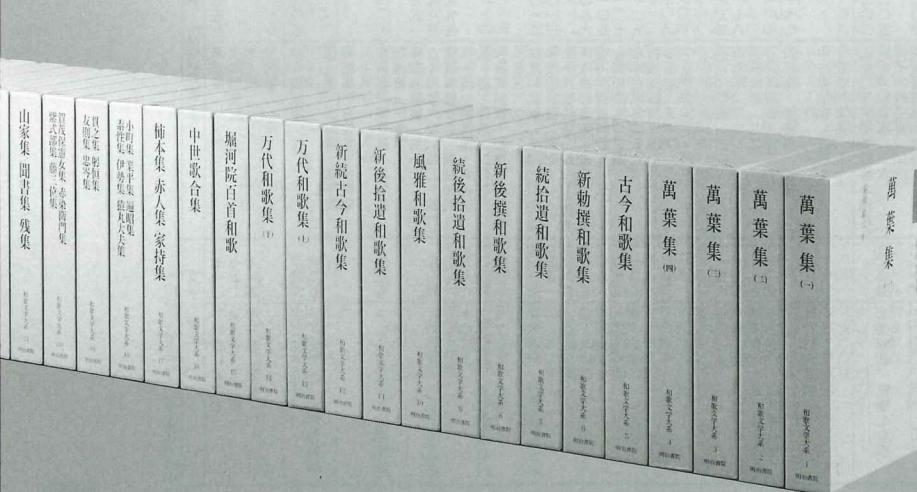


久保田 淳監修

和歌文学大系

全八十卷
別卷一



明治書院

全80巻！日本文学の根底をなす和歌

日本文化に多大な影響を与え続ける和歌。この豊饒日本人の芸術観を顧み大きな感動を得、我々を再発見この感動を味わっていただけることを願っております。

芸術を後代に継承するシリーズ。

のことばの連なりに触ることは、とりもなおさず、我々させる行為にはほかなりません。一人でも多くの読者の方に、

1

日本文学の底荷である 和歌を集成した大企画

和歌は日本文学の支柱であり、日本文化の中に脈々と流れる精神の象徴であります。そこで、本大系では、この一貫した流れを見据えるために、古典和歌から近代短歌にいたる歴史を隔てることなく大潮流としてとらえなおしました。

2

初めて注釈がつき、新たに 光の当たる和歌集を多く収録

収録歌集は、文学史・和歌史の全体を見渡して選定。萬葉集・勅撰集・私撰集・私家集・歌合・定数歌・近代短歌から構成されています。また本大系で初めて注釈が付いたことで、重要でありながら顧みられることの少なかつた、多くの歌集に光が当てられることがあります。

3

厳密な本文校訂と読みやすい表記

もっぱら研究者のための資料作成・作品検索の目的で編集される“大觀”と異なり、底本の形に復元しうる厳密な本文校訂と注釈作業を行うことで研究者にとつても必要な文献となるよう努力しつつ、多くの読者にとっての読みやすさを考慮した本文表記となっています。

4

適切な注解を加え、 鑑賞のポイントも説明

本文下に、古典和歌では口語訳や語句・文法説明等理解を助ける注解を記し、さらに必要に応じて鑑賞のポイントも説明しています。和歌を「詠み味わう」のに最適な注釈です。

5

各歌集には詳細な解説を付し、 最新の成果をわかりやすく提供

各歌集の時代背景・成立経緯・伝本・構成・研究史等、最新の研究成果を解説ページでわかりやすく記述。「研究的な鑑賞」にも耐えうる内容です。又、興味と理解を深めるため、各巻に月報を付しました。

6

検索に便利な行き届いた各種索引群

各巻に初句索引を付けています。また、多くの巻に作者名索引・地名索引等の各種索引を完備しました。

7

校注に学界の中堅・新鋭を 結集した一大注訳大系

各巻の執筆には学会の中堅・新鋭に依頼し、清冽な校注を付けました。和歌史全体を鳥瞰する監修者により、各巻の統一が図られています。

収録歌集の選定について

上代から平安時代を経て中世、室町時代までの日本の文学の根幹をなすものは和歌であった。たとえば源氏物語や枕草子、徒然草のような世界に誇るに足る散文作品も、和歌を背景に生れたといつても過言ではない。それゆえ、この時期の古典和歌の研究も早くから試みられ、萬葉集、古今和歌集、新古今和歌集などの代表的な撰集に関しては、精密な注釈も多く世に送られてきた。しかしながら、なお多くの重要な撰集、家集、歌合、百首歌などは、注釈的に未開拓のまま残されている。勅撰集においては、十三代集の詳注は本大系をもつてはじめてとする現状である。

近世和歌に至っては、注釈的研究の遅れはいよいよ著しいが、近年若い研究者層の間にこの分野に対する関心があり、我々の奥底にはその歴史の記憶が刻み込まれているからである。萬葉集にはじまる一二〇〇年の精神文化につながりを形にし、さらに近世・近代の手つかずの宝玉に光をあて一つの潮流とした理由はここにある。

現状の出版事情を顧みると、個々人の研究は徐々になされてきてはいるが、実のところ、時代を彩ったこれらの作

品群の注釈書はなく、さらに小説が中心となつた近代に至っては、近代短歌の大系的な注釈書はまつたくない状況にある。戦後「短歌」滅亡論や「俳句」滅亡論がさけばれたことがあった。しかし、これらは現在、研究者から趣味レベルまでの幅広い裾野で、年齢、性別に関係なく多くの人々によつて愛され続けている。日本文学の根幹には和歌があり、我々の奥底にはその歴史の記憶が刻み込まれているからである。萬葉集にはじまる一二〇〇年の精神文化のつながりを形にし、さらに近世・近代の手つかずの宝玉に光をあて一つの潮流とした理由はここにある。

* 価格は、定価(10%税込)と(本体価格)で示しています。

第1卷 萬葉集 (一)

稻岡耕二

五〇四頁
(四八〇〇円)

わが国最古の詞華集。最も長い研究史を有しつつ、永遠の謎を秘めている国民的な歌集。全二十巻の内、本巻には卷第

第2巻 萬葉集 (二)

稻岡耕二

五〇八二頁
(四八〇〇円)

本巻には卷第五から卷第九までを収める。大伴旅人、山上高橋虫麻呂の菟原処女の墓を見る歌などが見られる。

第3巻 萬葉集 (三)

稻岡耕二

五〇八二頁
(四八〇〇円)

稻岡耕二の卷第十四までを収める。「萬葉集」の中でも最も庶民のなまの声を伝えて異彩を放っている東

第4巻 萬葉集 (四)

稻岡耕二

五〇四頁
(四八〇〇円)

本巻には卷第十より卷第十四までを収める。「萬葉集」の中でも最も庶民のなまの声を伝えて異彩を放っている東

第5巻 古今和歌集 (一)

稻岡耕二

五〇四頁
(四八〇〇円)

本巻には卷第十より卷第十四までを収める。「萬葉集」の中でも最も庶民のなまの声を伝えて異彩を放っている東

第6巻 新勅撰和歌集 中川博夫

八二五〇円

(七五〇〇円)

貴族社会にとつて未曾有の衝撃であつた承久の乱後、後堀河天皇の勅命によって藤原定家が撰した第九番目の勅撰

第7巻 続拾遺和歌集 小林一彦

三九〇頁

(七七〇〇円)

龟山上皇の院宣により藤原為氏が撰した第十二番目の勅撰

第8巻 新後撰和歌集 鈴木宏子

久保田淳

一四五〇〇円

高野弟上娘子の悲恋の歌をはじめ、大伴家持の歌日記ふう

第9巻 続後拾遺和歌集 深津睦夫

三八八頁

(五七〇〇円)

亀山上皇の院宣により藤原為氏が撰した第十二番目の勅撰

第10巻 風雅和歌集 渡部泰明

丸山陽之子

(五二〇〇円)

南北朝動乱のさなか、叔父花園上皇の監修の下、北朝の光

第11巻 新後拾遺和歌集 松原一義

四六八頁

(五二〇〇円)

後醍醐天皇の勅命により二条為藤と同為定が撰した第十六

第12巻 新後拾遺和歌集 村尾誠一

五二二一頁

(五二〇〇円)

北朝の後円融天皇の勅命により、初め二条為遠が撰者とさ

第13巻 新後拾遺和歌集 安田徳子

三七四頁

(五七二一〇円)

北朝の後醍醐天皇の勅命により、初め二条為遠が撰者とさ

第14巻 万代和歌集 (下) 安田徳子

四八五頁

(七七〇〇円)

北朝の後醍醐天皇の勅命により、初め二条為遠が撰者とさ

第15巻 堀河院百首和歌集 青木賢豪

久保田淳

一三七二頁

白河院政期、堀河天皇に奏覧された組題(組織化された歌題)の百首とした最初の百首歌。その中心人物は源俊頼と

第16巻 中世歌合集 (上) 吉野朋美

吉野朋美

七七〇〇円

白河院政期、堀河天皇に奏覧された組題(組織化された歌題)の百首とした最初の百首歌。その中心人物は源俊頼と

第17巻 人麻呂集・赤人集・家持集 (下) 吉野朋美

吉野朋美

七七〇〇円

白河院政期、堀河天皇に奏覧された組題(組織化された歌題)の百首とした最初の百首歌。その中心人物は源俊頼と

第18巻 新後拾遺和歌集 (上) 安田徳子

安田徳子

七七〇〇円

白河院政期、堀河天皇に奏覧された組題(組織化された歌題)の百首とした最初の百首歌。その中心人物は源俊頼と

第19巻 万代和歌集 (下) 安田徳子

安田徳子

七七〇〇円

白河院政期、堀河天皇に奏覧された組題(組織化された歌題)の百首とした最初の百首歌。その中心人物は源俊頼と

第20巻 万代和歌集 (上) 安田徳子

安田徳子

七七〇〇円

白河院政期、堀河天皇に奏覧された組題(組織化された歌題)の百首とした最初の百首歌。その中心人物は源俊頼と

第21巻 中世歌合集 (上) 安田徳子

安田徳子

七七〇〇円

白河院政期、堀河天皇に奏覧された組題(組織化された歌題)の百首とした最初の百首歌。その中心人物は源俊頼と

第22巻 中世歌合集 (下) 安田徳子

安田徳子

七七〇〇円

白河院政期、堀河天皇に奏覧された組題(組織化された歌題)の百首とした最初の百首歌。その中心人物は源俊頼と

第23巻 中世歌合集 (上) 安田徳子

安田徳子

七七〇〇円

白河院政期、堀河天皇に奏覧された組題(組織化された歌題)の百首とした最初の百首歌。その中心人物は源俊頼と

第24巻 中世歌合集 (下) 安田徳子

安田徳子

七七〇〇円

白河院政期、堀河天皇に奏覧された組題(組織化された歌題)の百首とした最初の百首歌。その中心人物は源俊頼と

第25巻 中世歌合集 (上) 安田徳子

安田徳子

七七〇〇円

白河院政期、堀河天皇に奏覧された組題(組織化された歌題)の百首とした最初の百首歌。その中心人物は源俊頼と

第26巻 中世歌合集 (下) 安田徳子

安田徳子

七七〇〇円

白河院政期、堀河天皇に奏覧された組題(組織化された歌題)の百首とした最初の百首歌。その中心人物は源俊頼と

△各書目の下にISBN(国際標準図書番号)の商品コードを示しました。このコードは世界共通の書籍を特定するための番号です。

▽国別コードおよび小社の出版社コードは[978-4-625]です。(本文では省略)

▽2006年12月までの刊行書籍は10桁表示、2007年1月以降の刊行書籍は13桁表示になっていました。

▽二段で表示してあるコード(2006年12月までの刊行書籍)については、上段の()内コードが10桁表示、下段は10桁コードを13桁に読み替えたものです。

第18卷 小町集・業平集・遍昭集
索性集・伊勢集・猿丸集

田中喜美春 四四四頁
高野晴代 六三八〇円
鈴木宏子 (五八〇〇円)

第19卷 貫之集・躬恒集

武田早苗 四〇〇頁
久保田淳 (六五〇〇円)

友則集・忠岑集

佐藤雅代 七一五〇円
川村晃生 六八二〇円

賀茂保憲女集・赤染衛門集

宇津木言行 八八〇〇円
久保田淳 (六五〇〇円)

清少納言集・紫式部集・藤三位集

西澤美仁 五七四頁
谷知子 (六五〇〇円)

第21卷 山家集・聞書集・残集

寺島恒世 三四六頁
萩野恭茂 (六五〇〇円)

第22卷 長秋詠藻・俊忠集

川村淳 五七二〇円
久保田淳 (五二〇〇円)

式子内親王集

小倉真理子 五一六頁
児玉喜恵子 (五三〇〇円)

第23卷 建礼門院右京大夫集

上田博 三二四頁
増田繁夫 (五七〇〇円)

第24卷 竹乃里歌集

村尾誠一 三四六頁
柳田国男 (五二〇〇円)

第25卷 後鳥羽院御集

野山嘉正 五〇〇頁
和泉久子 (七〇〇〇円)

第26卷 東西南北・みだれ髪

七一五〇円
八二五〇円 (七五〇〇円)

第27卷 別離・一路

柳田国男 (三八六頁)
和泉久子 (七七〇〇円)

第28卷 赤光・林泉集

三五〇〇頁
柏木由夫 (七八〇〇円)

第29卷 桐の花・酒ほがひ

三三二〇頁
佐藤恒雄 (七七〇〇円)

第30卷 海やまのあひだ・鹿鳴集

三八六頁
平野本留美 (七〇〇〇円)

第31卷 後撰和歌集

三〇〇〇頁
渡部泰明 (八〇〇〇円)

第32卷 拾遺和歌集

三〇〇〇頁
君嶋亞紀 (八〇〇〇円)

第33卷 後拾遺和歌集

三〇〇〇頁
五月女肇志 (八〇〇〇円)

第34卷 金葉和歌集・詞花和歌集

三〇〇〇頁
佐藤恒雄 (四二九頁)

第35卷 千載和歌集

三〇〇〇頁
藤川功和 (四五〇〇円)

第36卷 新古今和歌集

三〇〇〇頁
木村尚志 (四五〇〇円)

第37卷 続古今和歌集

三〇〇〇頁
藤川功和 (四五〇〇円)

第38卷 続古今和歌集

三〇〇〇頁
木村尚志 (四五〇〇円)

「古今集」撰者四人の集、すなわち不朽の業績を誇る紀貫友則、定家に絶讚された名歌人壬生忠岑の歌集。
大和言葉による表現の可能性を極限にまで追い求めて、現代詩歌にも問い合わせるところの多い第八番目の勅撰集。下命者後鳥羽院は隠岐での晩年をこの集の精撰に費した。十番目の勅撰集。後嵯峨院の下命によつて藤原為家が撰進した第十番目の勅撰集。「古今」「新古今」と同じく真名。仮名の両序を備え、「続後撰集」に比して派手な印象を与える。見るようだと称えていた。

大和言葉による表現の可能性を極限にまで追い求めて、現代詩歌にも問い合わせるところの多い第八番目の勅撰集。下命者後鳥羽院は隠岐での晩年をこの集の精撰に費した。十番目の勅撰集。後嵯峨院の下命によつて藤原為家が撰進した第十番目の勅撰集。「古今」「新古今」と同じく真名。仮名の両序を備え、「続後撰集」に比して派手な印象を与える。

大和言葉による表現の可能性を極限にまで追い求めて、現代詩歌にも問い合わせるところの多い第八番目の勅撰集。下命者後鳥羽院は隠岐での晩年をこの集の精撰に費した。十番目の勅撰集。後嵯峨院の下命によつて藤原為家が撰進した第十番目の勅撰集。「古今」「新古今」と同じく真名。仮名の両序を備え、「続後撰集」に比して派手な印象を与える。

大和言葉による表現の可能性を極限にまで追い求めて、現代詩歌にも問い合わせるところの多い第八番目の勅撰集。下命者後鳥羽院は隠岐での晩年をこの集の精撰に費した。十番目の勅撰集。後嵯峨院の下命によつて藤原為家が撰進した第十番目の勅撰集。「古今」「新古今」と同じく真名。仮名の両序を備え、「続後撰集」に比して派手な印象を与える。

大和言葉による表現の可能性を極限にまで追い求めて、現代詩歌にも問い合わせるところの多い第八番目の勅撰集。下命者後鳥羽院は隠岐での晩年をこの集の精撰に費した。十番目の勅撰集。後嵯峨院の下命によつて藤原為家が撰進した第十番目の勅撰集。「古今」「新古今」と同じく真名。仮名の両序を備え、「続後撰集」に比して派手な印象を与える。

大和言葉による表現の可能性を極限にまで追い求めて、現代詩歌にも問い合わせるところの多い第八番目の勅撰集。下命者後鳥羽院は隠岐での晩年をこの集の精撰に費した。十番目の勅撰集。後嵯峨院の下命によつて藤原為家が撰進した第十番目の勅撰集。「古今」「新古今」と同じく真名。仮名の両序を備え、「続後撰集」に比して派手な印象を与える。

大和言葉による表現の可能性を極限にまで追い求めて、現代詩歌にも問い合わせるところの多い第八番目の勅撰集。下命者後鳥羽院は隠岐での晩年をこの集の精撰に費した。十番目の勅撰集。後嵯峨院の下命によつて藤原為家が撰進した第十番目の勅撰集。「古今」「新古今」と同じく真名。仮名の両序を備え、「続後撰集」に比して派手な印象を与える。

大和言葉による表現の可能性を極限にまで追い求めて、現代詩歌にも問い合わせるところの多い第八番目の勅撰集。下命者後鳥羽院は隠岐での晩年をこの集の精撰に費した。十番目の勅撰集。後嵯峨院の下命によつて藤原為家が撰進した第十番目の勅撰集。「古今」「新古今」と同じく真名。仮名の両序を備え、「続後撰集」に比して派手な印象を与える。

大和言葉による表現の可能性を極限にまで追い求めて、現代詩歌にも問い合わせるところの多い第八番目の勅撰集。下命者後鳥羽院は隠岐での晩年をこの集の精撰に費した。十番目の勅撰集。後嵯峨院の下命によつて藤原為家が撰進した第十番目の勅撰集。「古今」「新古今」と同じく真名。仮名の両序を備え、「続後撰集」に比して派手な印象を与える。

大和言葉による表現の可能性を極限にまで追い求めて、現代詩歌にも問い合わせるところの多い第八番目の勅撰集。下命者後鳥羽院は隠岐での晩年をこの集の精撰に費した。十番目の勅撰集。後嵯峨院の下命によつて藤原為家が撰進した第十番目の勅撰集。「古今」「新古今」と同じく真名。仮名の両序を備え、「続後撰集」に比して派手な印象を与える。

第63卷 金槐和歌集

渡部泰明
佐々木孝浩

賀茂真淵や正岡子規に絶賛された悲運の將軍、鎌倉右大臣実朝の家集と「新古今集」の撰者の一人で、歌・鞠の両道を能くした歌人飛鳥井雅経の家集部分)を収める。

第64卷 明日香井和歌集

久保田淳

為家卿集・瓊玉和歌集

山本啓介 四七二頁
佐藤智広 一三七五〇円

伏見院御集

斎藤酒井茂幸 五〇〇頁
小林大輔 七五〇〇円

第65卷 草庵集・兼好法師集

大谷俊太 八一五〇円
伊藤伸江 八四八頁

淨弁集・慶運集

西田正宏 大谷俊太
盛田帝子 伊藤伸江

第66卷 行昌草

斎藤酒井茂幸 八一五〇円
小林大輔 七五〇〇円

第67卷 衆妙集・黃葉和歌集

大谷俊太 八一五〇円
伊藤伸江 八四八頁

草根集・權大僧都心敬集

西田正宏 大谷俊太
盛田帝子 伊藤伸江

第68卷 後水尾院御集

鈴木健一 三一〇頁
田中康二 七七〇〇円

第69卷 晚華和歌集・賀茂翁家集

鈴木健一 七七〇〇円
田中康二 七〇〇〇円

第70卷 六帖詠草・六帖詠草拾遺

鈴木健一 五三二頁
田中康二 七〇〇〇円

第71卷 藤簾冊子・楫取魚彦家集

鈴木健一 五三二頁
加藤弓枝淳 一四三〇〇円

第72卷 琴後集

田中康二 三八四頁
神作研一 二二六五〇円

第73卷 桂園一枝・桂園一枝拾遺

鈴木健一 五三二頁
久保田淳 一四三〇〇円

第74卷 布留散東・はちすの露

鈴木健一 五〇八頁
加藤弓枝淳 一三〇〇〇円

第75卷 長塚節歌集

鈴木健一 五四二頁
猪狩友一 一四三〇〇円

第76卷 一握の砂・黄昏に・收拾

鈴木健一 五二〇頁
木股知史 一三〇〇〇円

第77卷 新月・伎芸天・無花果・翡翠

鈴木健一 五二〇頁
吉澤慎吾他 一三〇〇〇円

第78卷 まひる野・雲鳥・太虚集

鈴木健一 五二〇頁
西村真一登 一三〇〇〇円

第79卷 川のほとり・ふゆくさ・魚歌・橙黄・乳房喪失

鈴木健一 五二〇頁
太田重幸 一三〇〇〇円

第80卷 川のほとり・ふゆくさ・魚歌・橙黄・乳房喪失

鈴木健一 五二〇頁
齋藤千櫻 一三〇〇〇円

巨匠定家の後継者として晩成し、中世和歌の道統を守った藤原定家の「後水尾院御集」(一部を抄出)、その門弟で連歌作者として著名な心敬の「權大僧都心敬集」、室町後期の古典学者三条西実隆の「漫吟集」(自撰本)、田安宗武の「悠然院様御詠草」(部分)に新注を加える。

二条為世の和歌四天王と称された頓阿・兼好・淨弁・慶運の集を收める。南北朝動乱期における文化の動向がうかがわれ、「徒然草」の鑑賞にも資するところ多い。

藤原定家の「後水尾院御集」(一部を抄出)、その門弟で連歌作者として著名な心敬の「權大僧都心敬集」、室町後期の古典学者三条西実隆の「漫吟集」(自撰本)、田安宗武の「悠然院様御詠草」(部分)に新注を施す。

中世和歌の伝統を近世に繋いだ武将歌人細川幽斎の「衆妙集」と、その弟子で堂上歌人である烏丸光広の「黃葉和歌集」、契沖の「漫吟集」(自撰本)、田安宗武の「悠然院様御詠草」を收める。

藤原定家の「後水尾院御集」(一部を抄出)、その門弟で連歌作者として著名な心敬の「權大僧都心敬集」、室町後期の古典学者三条西実隆の「漫吟集」(自撰本)、田安宗武の「悠然院様御詠草」(部分)に新注を加える。

和歌文学大系

全80巻 別巻1



A5判・上製・函入 各巻平均400頁

2021年12月現在

★…新刊・近刊 ※価格税込

巻数	書名	定価	ISBN	注文数
1	萬葉集	一 5,280	9784625513015	
2		二 8,800	9784625413117	
3		三 12,100	9784625413285	
4		四 15,950	9784625424182	
5	★古今和歌集	14,850	9784625424380	
6	新勅撰和歌集	8,250	9784625413247	
7	続拾遺和歌集	7,700	9784625413131	
8	新後撰和歌集	— 未刊	—	
9	続後拾遺和歌集	5,720	9784625513091	
10	風雅和歌集	— 未刊	—	
11	新後拾遺和歌集	13,750	9784625424243	
12	新続古今和歌集	8,250	9784625413124	
13	万代和歌集	上 5,720	9784625513138	
14		下 7,700	9784625413025	
15	堀河院百首和歌	7,700	9784625413148	
16	中世歌合集	— 未刊	—	
17	人麻呂集・赤人集・家持集	7,700	9784625413186	
18	小町集・業平集・遍昭集・ 素性集・伊勢集・猿丸集	6,380	9784625513183	
19	貫之集・躬恒集・友則集・忠岑集	6,820	9784625513190	
20	賀茂保憲女集・赤染衛門集・ 清少納言集・紫式部集・藤三位集	7,150	9784625413001	
21	山家集・聞書集・残集	8,800	9784625413162	
22	長秋詠藻・俊忠集	5,720	9784625513220	
23	式子内親王集・建礼門院右京大夫集・ 俊成卿女集・艶詞	7,150	9784625413049	
24	後鳥羽院御集	5,720	9784625513244	
25	竹乃里歌	14,300	9784625424205	
26	東西南北・みだれ髪	7,150	9784625413018	
27	別離・一路	7,150	9784625413032	
28	赤光・林泉集	8,250	9784625413254	
29	桐の花・酒がひ	5,720	9784625513299	
30	海やまのあひだ・鹿鳴集	7,700	9784625413223	
31	★後撰和歌集	— 近刊	—	
32	拾遺和歌集	7,700	9784625413155	
33	後拾遺和歌集	— 未刊	—	
34	金葉和歌集・詞花和歌集	8,800	9784625413278	
35	千載和歌集	— 未刊	—	
36	新古今和歌集	— 未刊	—	
37	続後撰和歌集	13,200	9784625424229	
38	続古今和歌集	15,400	9784625424328	
39	玉葉和歌集	上 15,400	9784625424199	
40		下 15,950	9784625424359	
41	続千載和歌集	— 未刊	—	

巻数	書名	定価	ISBN	注文数
42	新千載和歌集	—	未刊	—
43	新拾遺和歌集	—	未刊	—
44	新葉和歌集	13,200	9784625424168	
45	古今和歌六帖	上 13,200	9784625424281	
46		下 14,300	9784625424366	
47	和漢朗詠集・新撰朗詠集	15,950	9784625424083	
48	王朝歌合集	14,300	9784625424298	
49	正治二年院初度百首	14,850	9784625424212	
50	物語二百番歌合・風葉和歌集	14,300	9784625424304	
51	三十六歌仙集	—	未刊	—
52		二 14,300	9784625424090	
53	和泉式部集・和泉式部続集	—	未刊	—
54	中古歌仙集	一 7,700	9784625413216	
55		二 —	未刊	—
56	散木奇歌集・基俊集	—	未刊	—
57	平安後期家集	—	未刊	—
58	拾玉集	上 14,300	9784625424038	
59		下 13,200	9784625424069	
60	秋篠月清集・明恵上人歌集	13,200	9784625424137	
61	拾遺愚草	—	未刊	—
62	玉吟集	14,850	9784625424267	
63	金槐和歌集・明日香井和歌集	—	未刊	—
64	為家卿集・瓊玉和歌集・伏見院御集	13,750	9784625424151	
65	草庵集・兼好法師集・淨弁集・慶運集	8,250	9784625413209	
66	草根集・權大僧都心敬集・再昌	8,250	9784625413230	
67	衆妙集・黃葉和歌集 漫吟集・悠然院様御詠草	—	未刊	—
68	後水尾院御集	7,700	9784625413179	
69	晚華和歌集・賀茂翁家集	15,400	9784625424335	
70	六帖詠草・六帖詠草拾遺	14,300	9784625424120	
71	藤蔓冊子・楫取魚彦家集・ 県門三才女集・梶の葉	—	未刊	—
72	琴後集	12,650	9784625414015	
73	桂園一枝・桂園一枝拾遺	—	未刊	—
74	布留散東・はちすの露・草径集・ 志濃夫廻舎歌集	14,300	9784625414008	
75	左千夫歌集	14,300	9784625424014	
76	長塚節集	—	未刊	—
77	一握の砂・黄昏に・収穫	8,250	9784625413193	
78	新月・伎芸天・無花果・翡翠	—	未刊	—
79	まひる野・雲鳥・太虛集	14,300	9784625424250	
80	川のほとり・ふゆくさ・ 魚歌・橙黄・乳房喪失	—	未刊	—
別	和歌文学史要説	—	未刊	—

お名前	電話番号
-----	------

ご住所

店印

FAX 03-5292-6182

株式会社 明治書院 〒169-0072 東京都新宿区大久保1-1-7 TEL 03-5292-0172